

## 商工部会の活動について

早田 健治  
Soda Kenji  
(森林部門・林業)



商工部会は、建設部門を除いたその他の技術部門のメンバーが交流をして、自己研鑽や課題解決を行う部会です。

徳島県技術士会においては、各種部会の運用に関する規定により、機械、船舶・海洋、航空・宇宙、電気電子、化学、繊維、金属、資源工学、衛生工学、農業土木を除く農業、森林土木を除く森林、水産、経営工学、情報工学、地質を除く応用理学、生物工学、環境、原子力・放射線の各部門に属する会員が商工部会を構成するとされていますが、本県では、船舶・海洋、航空・宇宙、繊維、資源工学、経営工学、原子力・放射線の6部門の会員がおらず、残る12部門のメンバーが部会員となっています。

商工部会の魅力はその多様性です。複雑な現代社会において一方的な見方だけで問題を解決することはほとんどありません。様々なジャンルのメンバーが集い、しかも、常識的な科学的見地で考え、意見を交換する。

現在の商工部会は、まだ、そのレベルには達していないかもしれませんが、交流と各自の技術の研鑽の中で、よりよい方向を目指していきたいと思えます。

現在の商工部会活動のメインは、年に数回行っている「商工部会サロン」です。市内の喫茶店で参加メンバーが近況報告を行い、興味のある議題が部会活動計画として合意形成されていきます。

現在進行形で行っている最大の課題は、部会員が所有する徳島市大神子地区の森林の整備への支援です。

この森林は、徳島市随一の景観を誇る大神子海岸に隣接しており、全域が風致保安林及び県立日峯大神子広域公園に含まれており、森林法上の森林管理と都市計画法上の公園管理を両立させる必要があります。当然のことながら利用者である県民にとって最もよいコンセプトが求められます。

商工部会では、この最適解を見つけるために今後とも議論と実践を重ねていく計画です。

その他、商工部会では、雑多な集団であることのメリットを生かしながら、徳島県を取り巻くさまざまな課題に、技術的視点で取り組んでいきたいと考えています。

広く、徳島県技術士会メンバーのご協力やご参加をよろしく願いいたします。